

龍野北高校 英語科 Can Do リストを更新しました

文法・訳読が中心の傾向にあった英語教育は数十年前から大きく進化を遂げ、現在では「読む」、「聞く」、「書く」、「話す」の 4 技能全てを均一に伸ばすことによって、“英語を使って何ができるようになるか”に焦点が当てられています。東京オリンピックの開催される 2020 年には新学習指導要領が施行され、外部試験の導入などが本格的に始まり、その動きは更に強まる傾向にあります。

本校でも従来から行ってきたリーディングだけでなく、ライティングなど他の技能も授業に取り入れています。その動きに合わせ、龍野北高校の Can Do リストを新しく更新しましたので、ぜひこの機会にご覧ください。

英語科 Can Do リストとは？

英語科 Can Do リストとは従来の「テストで〇〇点取る」や「英検〇級に合格する」、「不定詞／現在完了形を理解する」のような目標ではなく、「(英語を使って)～できる」という形のリストである。これを毎学期チェックすることにより、以下のことが期待される。

生徒

英語を使って「～ができるようになった」という達成感を持つ。それを学習意欲につなげる。できていないことに対しては、できるようになるために努力する自律的学習を促進する。

教員

生徒が身につける能力を明確化し、指導と評価の改善に活用する(PDCA サイクル)。

保護者

学校での学びを通してどのような力を付けることになるのか、試験の優越だけではない形で分かりやすく伝える。